



ZOWAオリジナルプロジェクト「君が私をダメにする」公開台本

▼使用に関する注意事項

「君が私をダメにする」公式サイト(<https://fun.zowa.app/lp/kimidame/>)
に公開されている利用規約を必ず「一読いただき、規約に沿って」利用ください。

第5話 「女子高生はUFOをもっ一度呼びたい」

【登場人物】

あやね

ナツキ

先生



SE 学校のチャイムの音

あやね 「じゃ、また明日ー」

ナカ 「待ってー」

あやね 「何？」

ナカ 「聞いて欲しいことがあるんだけど」

あやね 「じゃ、帰るよ。明日は帰るって、ホント、今日マタマタ…」

ナカ 「ダメー今、聞いて欲しいー」

あやね 「…何？」

ナカ 「リタツはCOFFEEを呼べちゃった」

あやね 「…は？」

ナカ 「昨日、呼べたの、COFFEEー」

あやね 「…？」

ナギ 「帰りにお母さんに頼まれてた大根買ってな」

ナギ 「レジ袋ケチって、大根片手に持ってスーパー出たらな、アタシの自転車のサドルがなくなってる、あーもうチキショー！ーてやんでい！神様助けてくれよー！ーって叫んだら、空には飛び去るUFOがー！」

あやね 「ツツツツツツツが多すぎないか」

ナギ 「だから、もっかい呼びたいのUFOーお願いー！」

あやね 「帰って良いかな。アタシな…」

ナギ 「つぎつぎつぎ、UFO呼びつよー。手伝ってよー！」

あやね 「そもそもあなたが呼んだの？」

UFOがいたっていつなら何か理由があるでござい

ナギ 「おっと昨日のアタシの運が悪かった事だと思っ」

あやね 「運？」

ナギ 「そっ！ーおっと宇宙人はUFOから運の悪い地球人を見て楽しんでいるのよー！ーで、今のようつぎつぎが知ってる中で今日一番不幸なのはアナター！」

あやね 「なんで?」

さき 「先ほど彼氏にフラれた拳句、実は本命ではなくて、浮気相手だったアナタです!」

あやね 「失礼すぎんだろ!フラれてないわ!本命だわ!」

さき 「いや、お前の彼氏はとっくに帰った」

あやね 「今日は用事があるって言ってたから!」

「ってか、そもそもUFO呼ぶなら外じゃないの?」

さき 「外は寒いもん。せつかくなら暖房完備された教室で呼んだ方が宇宙人も嬉しそうじゃ?」

あやね 「え、呼ぶのってUFOじゃ?」

さき 「もちろん。で、乗ってる宇宙人を呼び出してアタシと握手してもらおうよ!写真撮れたら間違いなくバズるからね!」

あやね 「まずUFOが呼べるかどうかなんだけど」

さき 「大丈夫!今日のお昼休みに廊下で転んで弁当ぶちまけて、パンツ全開を皆に見られたあなたが横にいるから!」

あやね 「やめろーその話題ーおかげで下半身体操着！短パンなの！

だから早く帰りたいのー！」

ナギ 「ネットにUFO映った動画めちゃくちゃ上がってるの見た」

あやね 「聞けよ」

ナギ 「めちゃくちゃ動画あるからーウキウキするでも呼ぶぞー」

あやね 「……」

ナギ 「何してんの？」

あやね 「検索してみる」

ナギ 「廊下で転んだ写真がネットで上がってるかどうかってあれす」

ねえ、普段からあんな派手なパ……」

あやね 「違うーUFOー」

ナギ 「あー、めちゃくちゃあるけど」

あやね 「めちゃくちゃあるけど大体、外で撮ってない？」

ナギ 「家の中から撮ってるのもあったもん」

あやね 「じゃあ、家に帰ってからUFO呼べば良いじゃん」

ナギ 「あのさー、宇宙人つっても初対面だよ？家に知らない人入れるの厳しいって。彼氏じゃないし。誰でもホイホイ入れちゃうアンタじゃないし」

あやね 「なんかちよいちよい失礼だなー」

ナギ 「あ、でもアウトラマな宇宙人なら外で呼んだ方が来るってことか…。
(早口になって)いや、乗り物の中ってこととはインタビューか…」

ナギ 「このUFOって車なの？マクタイプに知らない星に出かけてくるってこと
は…アウトラマな…や、このUFOが移動型の家だとして…インタビュー」

あやね 「いいえ、さあ、帰りたいんですけど」

ナギ 「じゃあ、あ、さあ、帰りたいんですけど」

あやね 「知ってるんですけど」

ナギ 「知ってますよ。よくあ、さあ、帰りたいんですけど」

あやね 「それなら外行った方がいいじゃん。アタシ先生に怒られるの嫌だし」

ナギ 「放送室だったら寒くないし、外にも届きそうじゃない？」

あやね 「よけー先生に怒られるよ」

ナギ 「UFOが乗り物だったとしたら、手あげてみる？」

あやね 「タクシーじゃないんだから。授業中に手上げてるし、それで来るなら外
UFOだらけになってるでしょ」

ナギ 「いや、もっと手を大きく広げて……元気を分けてくれー！」

あやね 「違う。それは地球人から貰うエネルギー。確かに彼らも宇宙人だけでも」

ナギ 「やっぱり家か！UFO！じゃあ、あれ入ってるよね。ホームセキュリティー」

あやね 「入ってたとして、中から出てくる分には関係なくない？」

ナギ 「もう、ナギから文句ばっか。オレ、オレを呼びますかね。UFO」

あやね 「そんな簡単なのかよ」

ナギ 「あんたのパンツ写真もあるから大丈夫でしょ」

さき 「え？先生、宇宙人と会うんですか？」

先生 「惑星タールちゃんだ！」

さき 「ちよっちよっ！宇宙人ってどうやってたら会えます？」

ねえ、ねえ？UFOって家なんです？」

先生 「惑星タールちゃん、好きなものはスパチャー家は知らん、そこを知らたら
ただのストーカーだ」

さき 「えー、ちよっちよっ！もっ！と詳しく！へー！どっ！と！ちよっ！と！UFO呼ぶるんです？」

先生 「ネットに繋げ！」

さき 「え、ネットにいるんですか？UFOー？」

SE 先生が教室から出ていく音

あやね 「……」。帰ろ……。あ、UFOー嘘ーねえーUFO来たよー！」

SE 天から何か降りてくるような音

あやね 「本物の宇宙人……あれ？サドル持っていない？」



ナギキ 「盗ったのおまえか……すいませーんそれ返してくださいー女子高生の
パンツの写真あげますからー……」

めざね 「ヤメー」